

地域連携推進センター ニュースレター 〈第61号〉

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8732 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

はじめに

日本創生会議座長 増田 寛也 氏 講演会

日本創生会議座長であり東京大学公共政策大学院客員教授である増田寛也氏に高知にお越しいただき、学生向けの講演会を開催しました。

講演会に先立ち、本学地域協働学部の実習先として入らせていただいている香南市西川地区の集落活動センターも訪問いただき、地域協働学部の取り組みもご覧になっていただきました。



高知大学公開講座
高知大学地域協働学部「地域協働教育推進委員会」
社団法人協働「シリーズ講座を聴え、行け」第3弾

高知大学
地(知)の拠点

地方消滅を食い止めるために
学生への期待
～若者が地域で学ぶ意義～

日時: 平成28年6月22日(水)
15:30~16:30


場所: 高知大学朝倉キャンパス
メディアの森6階 メディアホール

写真: 地域協働学部実習先地 香南市西川地区

講師 **増田 寛也 氏**

日本創成会議 座長
東京大学公共政策大学院 客員教授
野村総合研究所 顧問
元総務大臣、元岩手県知事

主な著書: 「地方消滅 東京一極集中が招く人口急減」中公新書

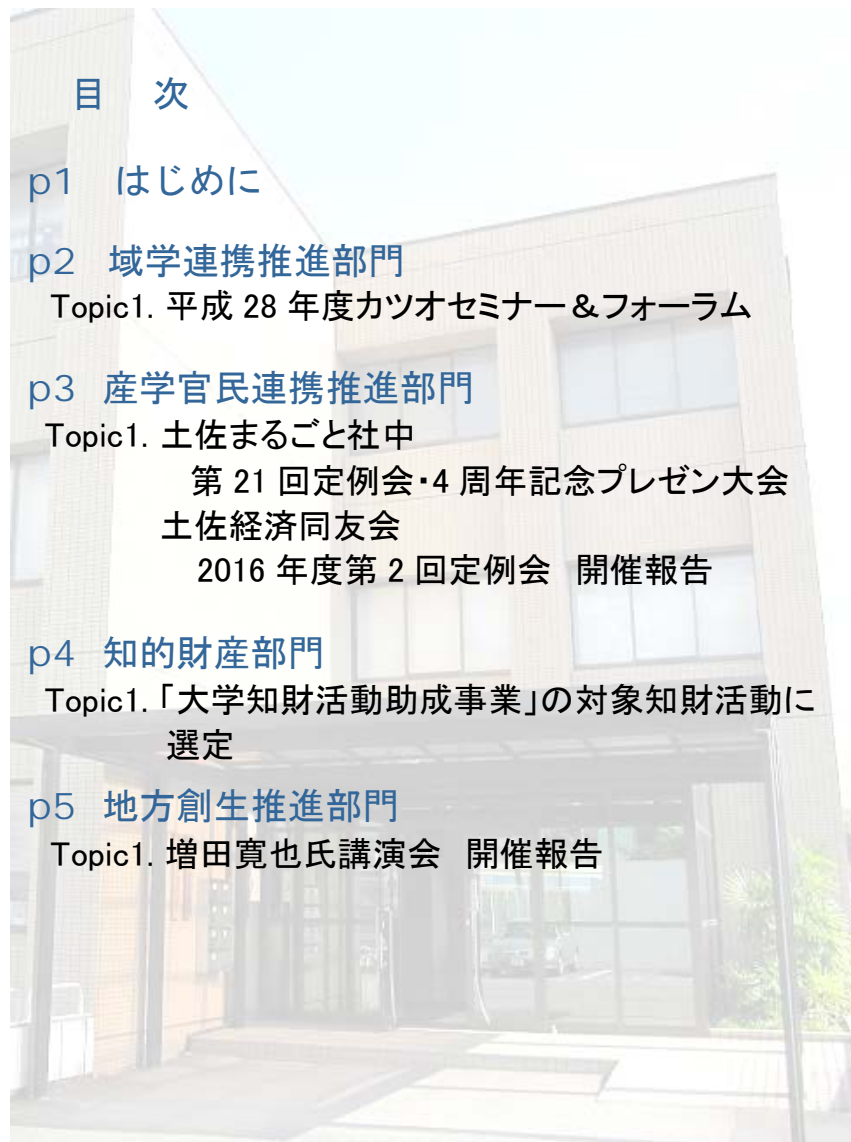


〈講演概要〉
来るべき人口急減時代にどう立ち向かうのか。人口急減の実態と地方創生について説明したと共、若者が地域で学ぶ意義について学生に考えていただきます。講演後、増田様との意見交換のための時間も設けます。

定員: 100名
要申込み、参加無料
本講座は学生への教育を主な目的としています。学部学年問わず多くの学生の参加を推奨します。また、一般の参加も受け付けます。

申込み方法: 以下URL掲載の申込フォームに必要事項を入力ください。
なお、定員100名のため先着順とさせていただきます。
<http://www.kochi-u.ac.jp/info/dt/leho?ID=630>
※URL掲載方法: 高知大学OCC+高知イノバ イベントよりイベントページへ

【主催】高知大学地域連携推進センター、地域協働学部「地域協働教育推進会議」
【後援】こちろ情報倶楽部
【お問い合わせ先】高知大学地域連携推進センター 地方創生推進室
〒780-8073 高知市朝倉本町2丁目17-47
TEL:088-844-8293 E-mail: kt10@kochi-u.ac.jp



目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. 平成28年度カツオセミナー&フォーラム

p3 産学官民連携推進部門

Topic1. 土佐まるごと社中

第21回定例会・4周年記念プレゼン大会
土佐経済同友会
2016年度第2回定例会 開催報告

p4 知的財産部門

Topic1. 「大学知財活動助成事業」の対象知財活動に
選定

p5 地方創生推進部門

Topic1. 増田寛也氏講演会 開催報告

Topic 1. 平成 28 年度 カツオセミナー&フォーラム

黒潮町との連携により運営する日本カツオ学会の活動として、年に1回「カツオセミナー」と「カツオフォーラム」を開催しております。本年は「カツオセミナー&フォーラム」として合同開催いたします。

「平成28年度カツオセミナー&フォーラム」

～カツオ資源の管理方針を考える～

日時:平成28年7月16日(土)13:00～(17時頃まで)

場所:高知共済会館

基調講演「中西部太平洋におけるカツオ資源の調査研究の現状と今後」

神谷 崇 氏 水産庁 増殖資源部 漁業資源課長

基調講演「太平洋沿岸カツオ標識放流共同調査(味の素(株)・国際水研)の最近の進捗」

① 国際資源管理の国際協力に向けた台湾との協働への展開

② 最新型ピンガー標識を用いた生態行動の詳細把握と漁業共通インフラ化の検討

杉本 信幸 氏 味の素(株)グローバルコミュニケーション部 シニア・マネージャー

特別講演「カツオと和食文化を守る」～未来にカツオ資源を残すために～

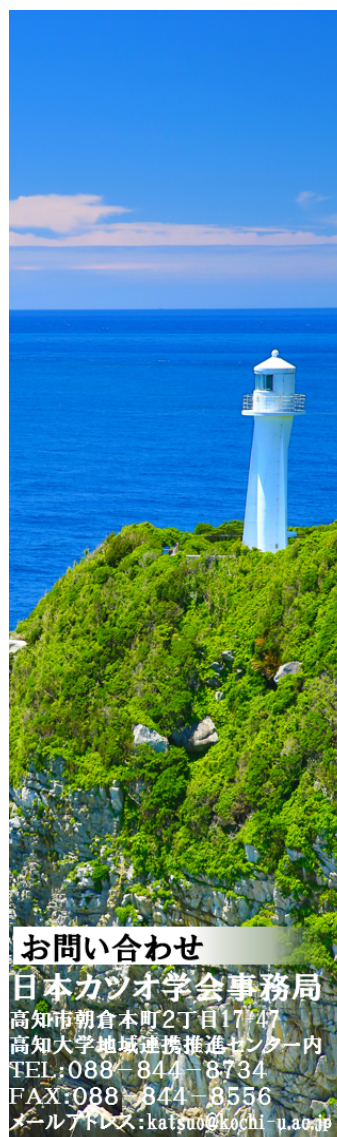
竹内 太一 氏 土佐料理 司 代表取締役社長

総合討論「カツオ資源の管理方針を考える」

その他、一般講演や懇親会等も企画しています。セミナー&フォーラムは参加費無料、懇親会費は5千円になります。日本カツオ学会員以外でも参加可能ですので、ご興味ありましたらご参加お願いいたします。

詳細は以下の日本カツオ学会ホームページでも紹介しておりますので、ご参照いただければ幸いです。

(<http://www.katsuo-gakkai.jp/>)



平成28年度

カツオセミナー&フォーラム

日本カツオ学会は、カツオに関心のある全ての方のための情報交換や相互交流をもとにした連携を図る場であり、日本の豊かな食文化を醸成してきたカツオの価値を見直し、カツオとの「上手な付き合い方」を探ることを目的として活動しています。

カツオ資源についての現状と将来を多くの皆様と共に学ぶため、平成28年度カツオセミナー&フォーラムを開催します。学会員はもとより、カツオに関心のある方々の多くのご参加をお願い申し上げます。

日時・場所

平成28年

7月16日(土)

13:00～16:45

高知共済会館

(高知市本町5丁目3-20)

基調講演

神谷 崇 氏

水産庁 増殖推進部 漁場資源課長

杉本 信幸 氏

味の素(株)
グローバルコミュニケーション部
シニア・マネージャー

特別講演

竹内 太一 氏

土佐料理 司
代表取締役社長

申込先

以下の日本カツオ学会ホームページの出欠票にご記入の上、FAX、メール、又は郵送にてご連絡ください。
<http://www.katsuo-gakkai.jp/> 又は「日本カツオ学会」と検索

カツオ資源の管理方針を考える

入場
無料

Topic 1. 土佐まるごと社中 第21回定例会・4周年記念プレゼン大会 土佐経済同友会 2016年度第2回定例会 開催報告

土佐まるごと社中(TMS)第21回定例会・3周年記念プレゼン大会/土佐経済同友会2016年度第2回定例会を平成28年6月11日(土)14時00分より高知県立大学・高知工科大学永国寺キャンパス地域連携棟にて開催、17時30分より「交流会」を高知城ホールにて開催しました。まず、土佐まるごと社中世話人の松浦潤氏より土佐まるごと社中の紹介がおこなわれ、引き続いて高知県産業振興推進部副部長 澤田博睦様より、ココプラについての紹介がおこなわれました。その後、3会場に分かれて1会場辺り8名のプレゼンター、合計24名がプレゼンを行い、参加者は聞きたい会場へ自由に移動し熱いプレゼンに聞き入っていました。プレゼン大会終了後の大交流会にも、たくさんの方にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

【参加者数】 土佐まるごと社中(TMS)第21回定例会・3周年記念
プレゼン大会:約80名 交流会:55名

なお、TMSは毎月、第2水曜日の夜、産学官民の交流活動を実施しております。



Topic 2. ココプライベント情報紹介

- [1] 土佐経済同友会オープン・セミナー 産学官民連携シリーズ(6)
「高知でめざすべきマーケティング 基礎理論と応用」
平成28年7月1日(金) 18:00~20:00 日本銀行 高知支店長 河合祐子氏
- [2] 第8回シーズ・研究内容紹介
「高知県産品の探索・評価 ~ 健康・医療への統合展開—生体効果検証とその応用—」
平成28年7月6日(水) 18:30~20:00
高知大学医学部附属病院検査部・病態情報診断学 竹内 啓晃 講師
- [3] 第2回 高知家フューチャーセミナー
「第1部 テーマ「働き方の未来」、第2部 ワークショップ」
平成28年7月15日(金) 13:30~17:00
- [4] 第3回経営者トーク
「地方における職業教育の役割と心の経営」
平成28年7月15日(金) 18:30~20:00 学校法人 龍馬学園 理事長 佐竹 新市

ココプライベントカレンダー: <http://www.kocopla.jp/kouryu/#calendar>

Topic 1. 高知大学の知財活動が「大学知財活動助成事業」の助成対象知財活動に選定されました！

一般財団法人工業所有権協力センター(IPCC)が募集していた「大学知財活動助成事業」に、本学から応募した「大学と地域が協働して行う知的財産活用プロジェクトⅡ」が助成対象知財活動に選定されました。この助成事業は、昨年度から大学の知財活動に対し必要な資金を助成することで、大学の知財活動の活性化を図り、ひいては知財立国を通じた我が国の産業・経済の発展に寄与することを目的としたもので、昨年度本学は奨励賞対象大学に選定されました。本年度は、20大学から21の知財活動について応募があり、助成対象知財活動11件、奨励賞対象大学1校が選定されています。

今後、高知県内での知財セミナーの開催や本学知財と地域ニーズ等とのマッチング等を更に強化して地域の発展・活性化に活かしていきます。

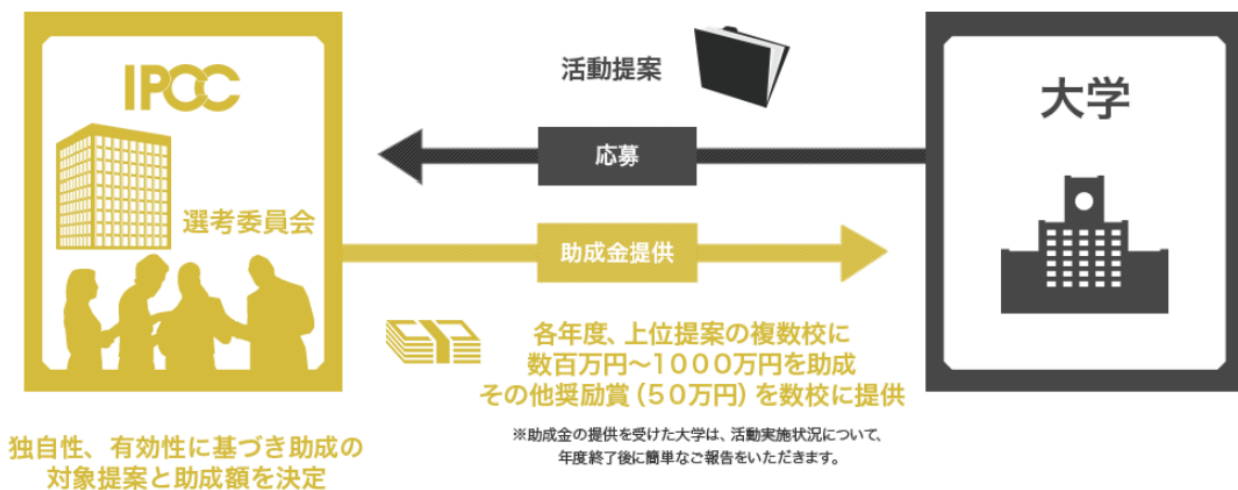
大学知財活動助成事業選考結果(平成28年度)<https://www.ipcc.or.jp/university/result/>



大学知財活動助成事業とは？

大学から助成を希望する知財活動の案を募集し、優れた活動提案（*注）に対して、IPCCが最大1000万円の実施資金を助成（無償供与）します。

（*注）知財教育の推進、産学連携のネットワーク形成等、知財活動の種類は問いませんが、個別技術の研究・事業化は対象となりません。



本事業は、IPCCが、一般財団法人化に伴う公益目的事業として内閣総理大臣の認可を受け、実施しているものです。

出典：一般財団法人工業所有権協力センターHP (<https://www.ipcc.or.jp/university/>)

Topic 1. 増田寛也氏講演会 開催報告

地方創生の現状と課題、若者が地域で学ぶ意義などについて考えるため、6月22日(水)高知大学メディアホールにて、日本創成会議座長の増田寛也さんをお迎えし、講演会を開催しました。

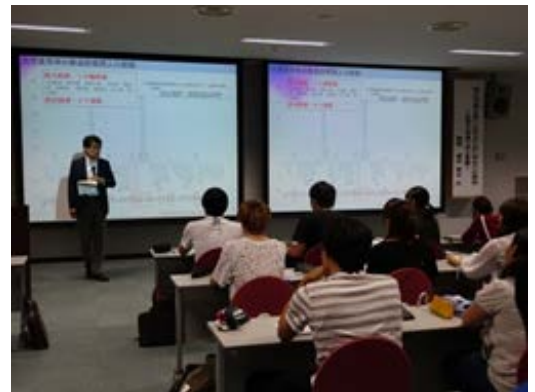
講演会は社会人師匠講座「シリーズ俺を超えて行け！」第3弾も兼ね、地域協働学部をはじめとする学生と社会人の計120名ほどが、「地方消滅を食い止めるために学生への期待～若者が地域で学ぶ意義～」のテーマで学び、熱心な質疑応答を行いました。

講演では、当日、香南市西川地区で集落活動センターを拠点に地域住民の方々と学生がともに活動している様子を見学し、深く感銘を受けたとの話から始まりました。

その後、高知県の現状に触れ、65歳以上の人口は2020年までは増加傾向が続く一方で、進学や就職などによる15歳から24歳の若年層の転出超過が継続しているため、本気になって若者流出を防ぐ事業を進めていくべきだと述べられました。そのために地方で講じられる対策として、雇用の場の創出による地域活性化、「働き方」改革、人工知能(AI)やICTを活用したイノベーション等を積極的に考えていく必要があると紹介されました。

地域で活動している学生に対しては、「私自身、岩手県知事を12年間するなかで、どれだけ地域の本音を引き出せたのか忸怩たる思いがある。地域に住む人たちの多様な価値観・本音をきちんと聞くことができれば8割は成功したようなものだ。住民と学生がともに意識改革をして成長できるように願っている」とのメッセージがありました。

質疑応答では、学生から多数の質問があり、その一つ一つに丁寧に答えられ、若者が地域で学ぶ意義について考えさせられるものとなりました。



西川地区集落活動センターでの意見交換